

代数学幾何学及び演習 II [演習] (2003/12/19)

Ver. 1.0

栗野 俊一

kurino@math.cst.nihon-u.ac.jp

<http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino/2003/linear2/linear2.html>

2003 年 12 月 19 日

概要

代数学幾何学及び演習 II [演習]¹の 2003/12/19²の資料

目次

1	お知らせ	1
2	演習	1
2.1	本日の資料の PDF 版	1
2.2	本日の講義メモ	1
2.3	本日の演習資料	1
3	提出	1

¹<http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino/2003/linear2/linear2.html>

²<http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino/2003/linear2/20031219/20031219.html>

1 お知らせ

1. 次の回 (2004/01/16) の演習の時間は、小テストの予定です。範囲は次のようになります。

- スペクトル分解
- 二次曲線、二次曲面の分類

2 演習

2.1 本日の資料の PDF 版

次の URL を参照すれば、本日の資料の PDF 版が入手できます。
2003 年 12 月 19 日の資料の PDF 版³

2.2 本日の講義メモ

次の URL を参照すれば、本日の講義のメモが入手できます。今日の講義メモ⁴

2.3 本日の演習資料

本日の演習は、これ⁵です。

3 提出

課題の内容は、2003/10/17 の課題⁶の問題の No.50-No.56 の七つを e-mail で送ってください。
ただし、全ての問題を解く必要はありません。次のようにしてください。

No.50, No.51, No.53, No.54 全部

No.52 (a)-(e) の内、学籍番号を 5 で割った余りを計算し、0 なら (a), 1 なら (b), 2 なら (c), 3 なら (d), 4 なら (e) のみの場合を答えなさい。

No.55 小問番号として学籍番号を 3 で割った余りに 1 を足した番号

No.56 小問番号として学籍番号を 8 で割った余りに 1 を足した番号

e-mail の内容の形式ですが、表題は、次のようにしてください(全て半角)。

linear2:rep0YY:XXXX

ただし、YY には、課題番号 (50-56), XXXX には、学生番号を入れます⁷。

本体には、回答を入れてください。特に内容の形式は可能なかぎり TeX の形式をお願いします。
提出先は、

³./20031219.pdf

⁴./memo.txt

⁵../ex/ex011/ex011.pdf

⁶../ex/ex007/ex007.pdf

⁷例えば、学籍番号 1234 の方が、課題 50 を出す場合は、linear2:rep050:1234 となります。

linear2-2003-report@media.cst.nihon-u.ac.jp
宛に、お願いします。